

# 子ども未来プロジェクト

平成25年12月1日（日）、映画「SWITCH～遺伝子が目覚める瞬間」の上映と鈴木七沖（すずき なおき）監督のトークを開催しました。

人間の無限の可能性を追い続ける科学者、村上和雄博士の研究の軌跡と、苦難の中で花開いた人間の可能性を追ったドキュメンタリー映画の上映後、鈴木七沖監督と参加者の方々との意見交換がありました。

「不平不満を言う暇はない。自分に何のスイッチが入るかわからないが、気づきのできる生活を送っていきたい」「“今のままのありのままの自分で生きていく”という言葉が心に残った。今の自分にできることを、小さくてもいいから見つめなおしてやっていきたい」「何か行動を起こしたいと思っても続かなかったり飽きてしまったりと長続きしない。ただやる気がないだけと思っていたが“思い”によって遺伝子はONになる、と聞いて刺激を受けた」というような感想が述べられました。

## チラシより



# アンケートより

年齢性別に関係なく、  
今からでも遺伝子に  
スイッチが入ることを期待  
してもう一度自分のことを  
かえりみたい

小さな目標を持って  
毎日を生きていきたい

自分の可能性が  
まだあるということに  
ワクワクする

物事に対してマイナス  
思考になりがちだったが、  
結果だけでなく良いプロ  
セスをつみあげていくこと  
に力を注いでいきたい

ありのままの自分で  
一生懸命生きていきたい

## 市民活動支援事業助成金を受け実施したこの事業についての 反省点や成果

### 準備過程をふりかえって(苦勞した点や広報活動を進めるうえで工夫した点など)

- ◆チラシ1,500枚を作成し、幼稚園、保育園、学校等に配布をお願いした。また、コムズにもおいていただき、イベント時に参加者へ配布してもらった。
- ◆FACEBOOKでもイベントページを作成してイベントの告知および参加募集を呼びかけた。主催者をつながりのある方々へのご案内により、実際の参加者のうち40%がこれによるものとなった。
- ◆当日は参加申し込みのあった数よりかなり少なくなったが、あとからお聞きしたところでは荒天のため、自転車で行けなくなった等のハプニングもあったとのことだった。駐車場の数に限りがある点を事前にもう少ししっかりお伝えしておくべきだったとの反省点があがっている。
- ◆当日の運営面では、時間をお伝えしていたものの講演会の時間が予定を大幅に上回り、参加者にもコムズにも大変ご迷惑をおかけしてしまったことを反省している。

## 当該事業を実施しての成果

### ◆実施団体として

映画については人間の持つ可能性を生命科学でどのように裏付けされているかを伝えるドキュメンタリーであり、非常に有意義な内容であると確信している。

講演については、一方通行の話ではなく、参加者を巻き込んだスタイルをお願いしていたが、映画でお帰りになられた方も多かったため会場の雰囲気もあり監督ご自身の判断で講演のみとなった。その点については終了後ご本人も気にかけておられましたが、もう少し事前の打ち合わせが必要であったと思う。

アンケート回答では全体的にとっても高い評価をいただいたが、多くの反省点があり、今後は企画段階で工夫したい。

### ◆参加者にとって

全体的に大変喜んでいただいた。

